

わたし流、
やさしまの暮らし。

「琵琶湖を求めて」

藤田 時彦 さん 一家



家から琵琶湖を見渡せる暮らしを満喫!

たかしまへ移住(1・J・Uターン)された方に、インタビュー!

「せっかく滋賀で暮らすなら琵琶湖沿いがいい」と思い物件を探し始めたところ、地元で縁がありUターンすることになりました。娘の就学に合わせて移住を考えていたので、とても良いタイミングでした。

娘は入学早々に友達ができたようで今では「浜で待ち合わせしてるの!」と帰宅後急いで宿題を済ませ浜へ降りていきます。妻もここでの生活を記録したり、娘とシーグラスを探したり、湖との暮らしを楽しんでいます。

実家も近くなったので娘は喜び、私たちも大変助かっています。

今後は我が家のスペースを活用したイベントなどを企画して、この浜通りが賑わっていけば良いなと思っています。

今年も募集
先輩ママサポーター
養成講座 参加者募集!

▼日時 9月24日(金)
10時~11時30分
▼場所 新旭保健センター
▼対象 子育て経験のある母親
(小学生までの子を持つ母親)
詳しくは、健康推進課までお問い合わせください。

◆活動内容は?
妊産婦さんや、子育て中のママの悩みや不安を聞いたり、自身の体験などを話したりして、少しでも妊産婦さんたちの気持ちを和らげるような活動をしています。



知っていますか? 先輩ママサポーター!

先輩ママサポーターとは、子育てをしている方で、市が実施する養成講座を4回受講し、子育て中のママたちの身近な相談相手として活動されている方のことです。市では、現在8人の先輩ママサポーターが活動中です。



プレママ・プレパパサロン

出産に向けて、どんなものを用意していましたか?

出産のときってどんな感じでしたか?

◆活動場所は?
○今すぐと親子すくすくルーム
ちくたく(今津図書館)
○すこやかママ相談室
(安曇川保健センター)
○プレママ・プレパパサロン

◆活動のようす
《プレママ・プレパパサロン》
参加者からたくさん質問が出るなど、楽しい時間となりました。
先輩ママサポーターからは、「ママやパパたちのまだ見ぬ我が子に対する思いに触れたのが特に新鮮でした」との声がありました。



安全安心

交通事故発生状況

高島警察署 ☎(22)0110
(令和3年7月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	60件	+30件
死者数	3人	+3人
傷者数	85人	+44人

発生場所	件数
マキノ	5件
今津	15件
朽木	4件
安曇川	16件
高島	6件
新旭	14件



火災・救急・救助件数

消防総務課 ☎(22)5401
(令和3年7月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	1件	3件
車両	1件	1件
林野	0件	1件
その他	0件	8件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	6件	79件
一般負傷	36件	239件
急病	167件	1081件
その他	25件	178件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	1件	8件
水難事故	0件	1件
その他	2件	8件

環境放射線測定結果

原子力防災対策室 ☎(25)8133

7月平均値(平日測定)	前月平均値
マキノ(マキノ支所前駐車場) 0.070 μSv/h	0.060 μSv/h
今津(今津支所車庫付近) 0.038 μSv/h	0.036 μSv/h
朽木(朽木支所前駐車場) 0.059 μSv/h	0.057 μSv/h
安曇川(安曇川支所南側駐車場) 0.047 μSv/h	0.049 μSv/h
高島(高島支所東駐車場) 0.062 μSv/h	0.052 μSv/h
新旭(高島市役所本館北側車庫付近) 0.052 μSv/h	0.048 μSv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
※日本での自然放射線による時間線量の通常値はおおむね0.2μSv/h以下です。

あんしん 元気生活

地域包括支援課 ☎(25)8150
(地域包括支援センター) ☎(25)8054

9月は「世界アルツハイマー月間」です

1994年に国際アルツハイマー病協会(ADI)が認知症の理解をすすめるために、9月を世界アルツハイマー月間に制定し、世界各国で啓発活動が行われています。
市でも「認知症みんなの笑顔で支えよう」をキャッチフレーズに、認知症の正しい理解とその対応方法の普及啓発に取り組んでいます。



▶キャラバンメイト
認知症理解の普及啓発活動をしています。市には36人の方が登録されています。



認知症サポーター
キャラバンのマスコット「ロバ隊長」

キャラバンメイトが依頼のあった地域や企業・学校などを訪問し、「認知症の理解」と「対応の方法」について講義や実践をします。この講座を受けた方は「認知症サポーター」となります。この機会にみんな認知症について学んでみませんか?

認知症サポーター養成講座

